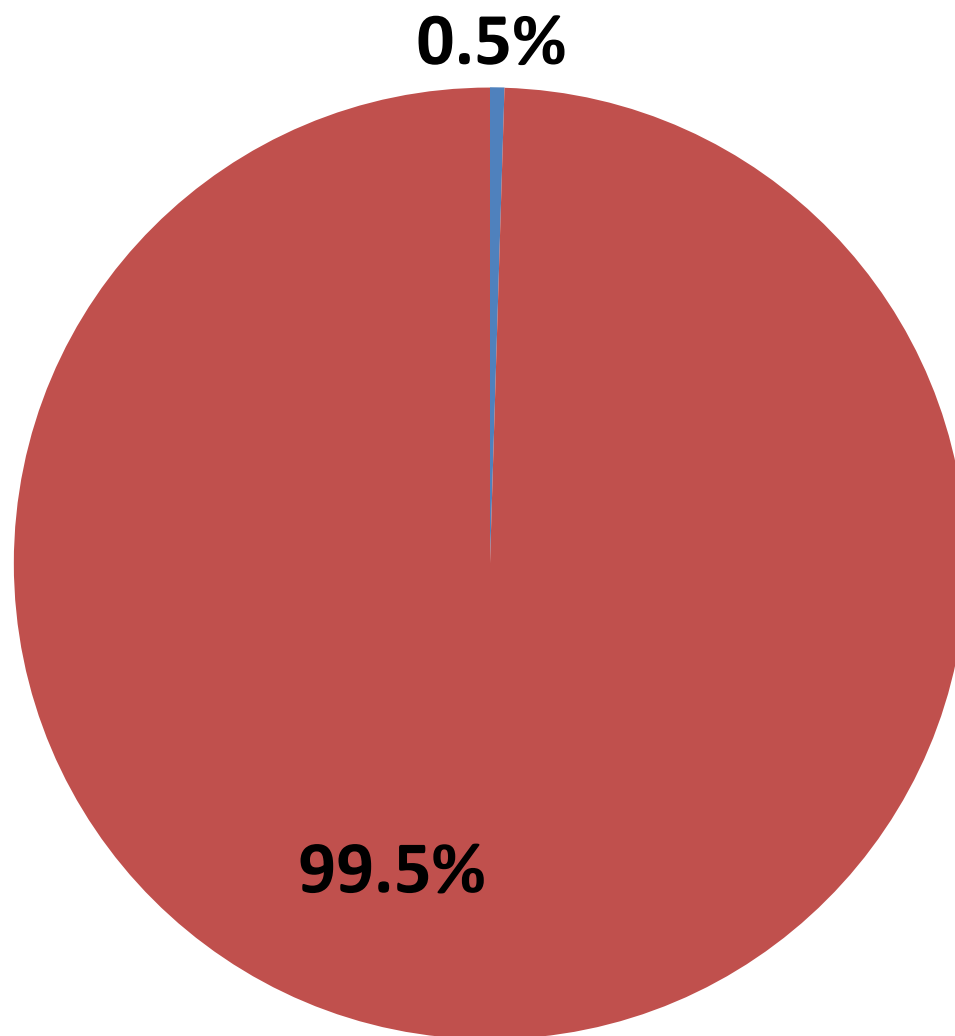


公開第12回かながわ乳がん市民フォーラム 事前アンケート集計結果

- このアンケートは、2013年6月上旬～7月26日
までにご回答いただいた、総勢約200名以上の
方々からのご意見をまとめたものです。

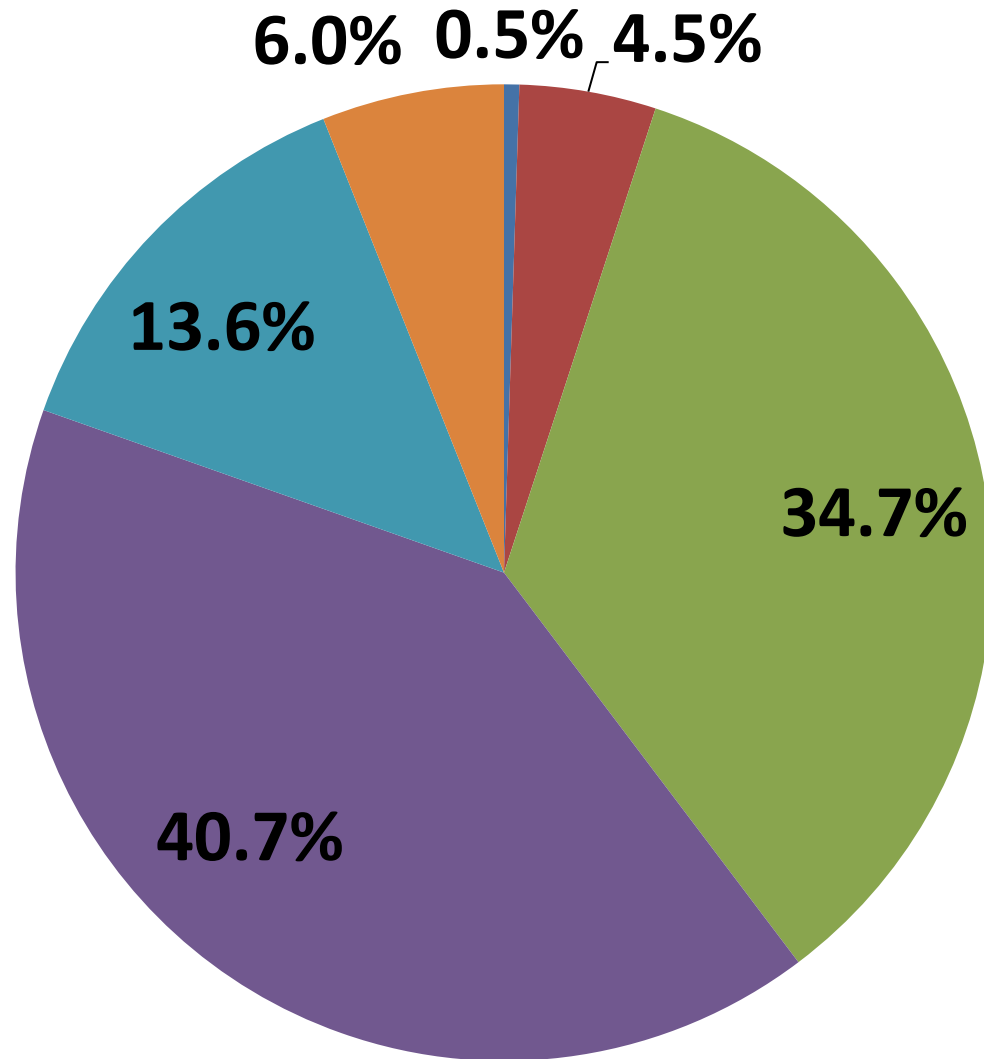
1. 回答者について 性別

■ ア.男性 ■ イ.女性



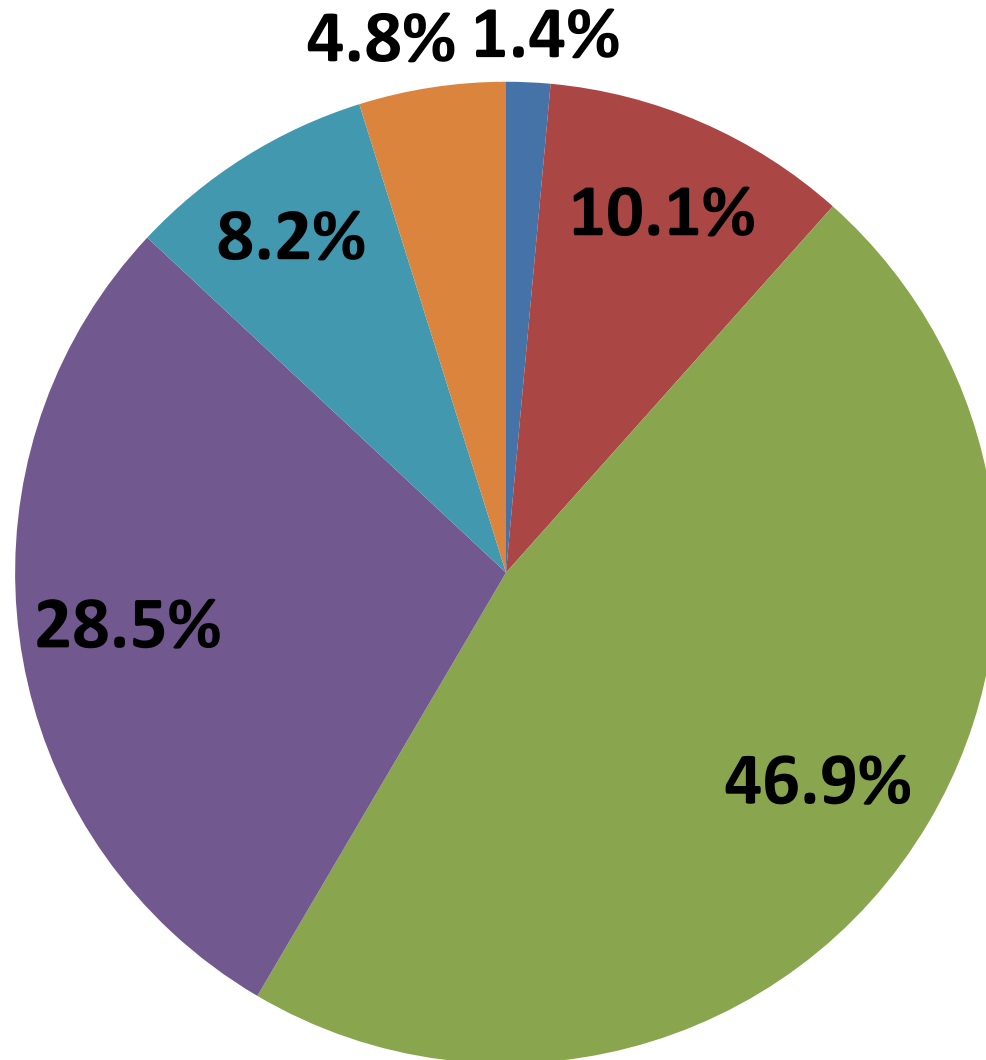
2. 回答者について 現在の年齢

■ ア.20代 ■ イ.30代 ■ ウ.40代 ■ エ.50代 ■ オ.60代 ■ カ.70代以上



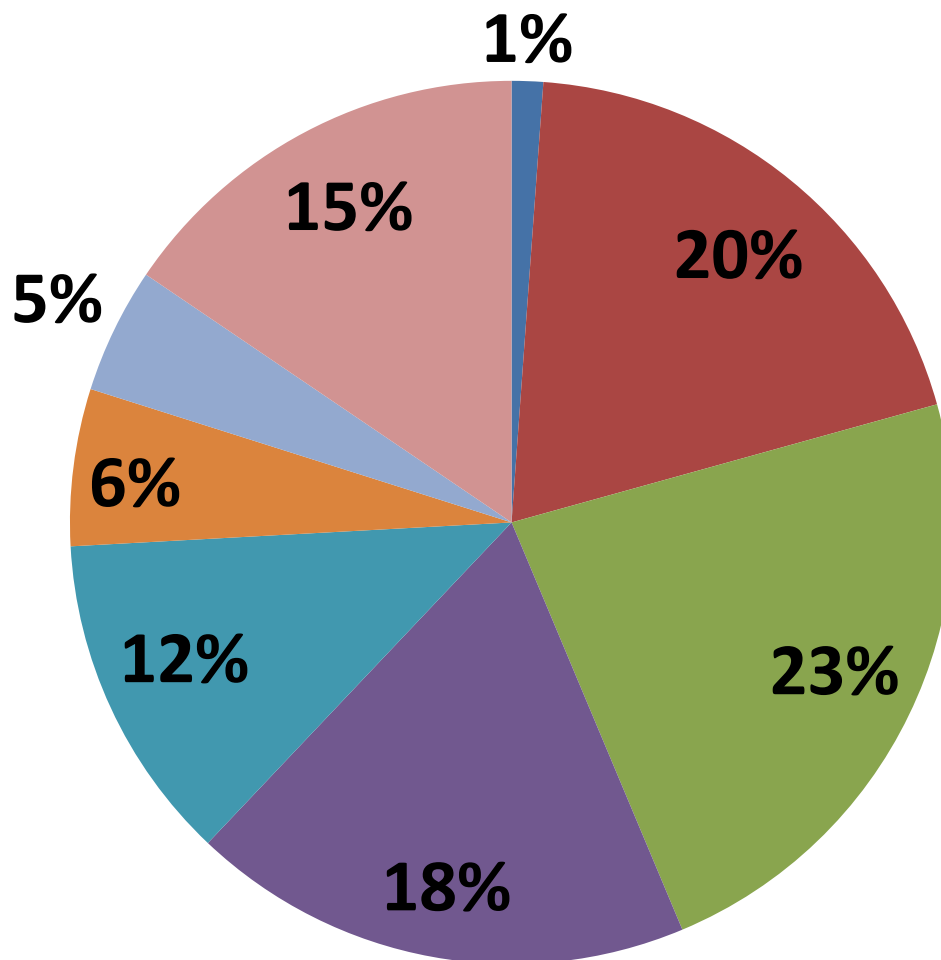
3. 回答者について 乳がんと診断された時の年齢

■ ア.20代 ■ イ.30代 ■ ウ.40代 ■ エ.50代 ■ オ.60代 ■ カ.70代以上



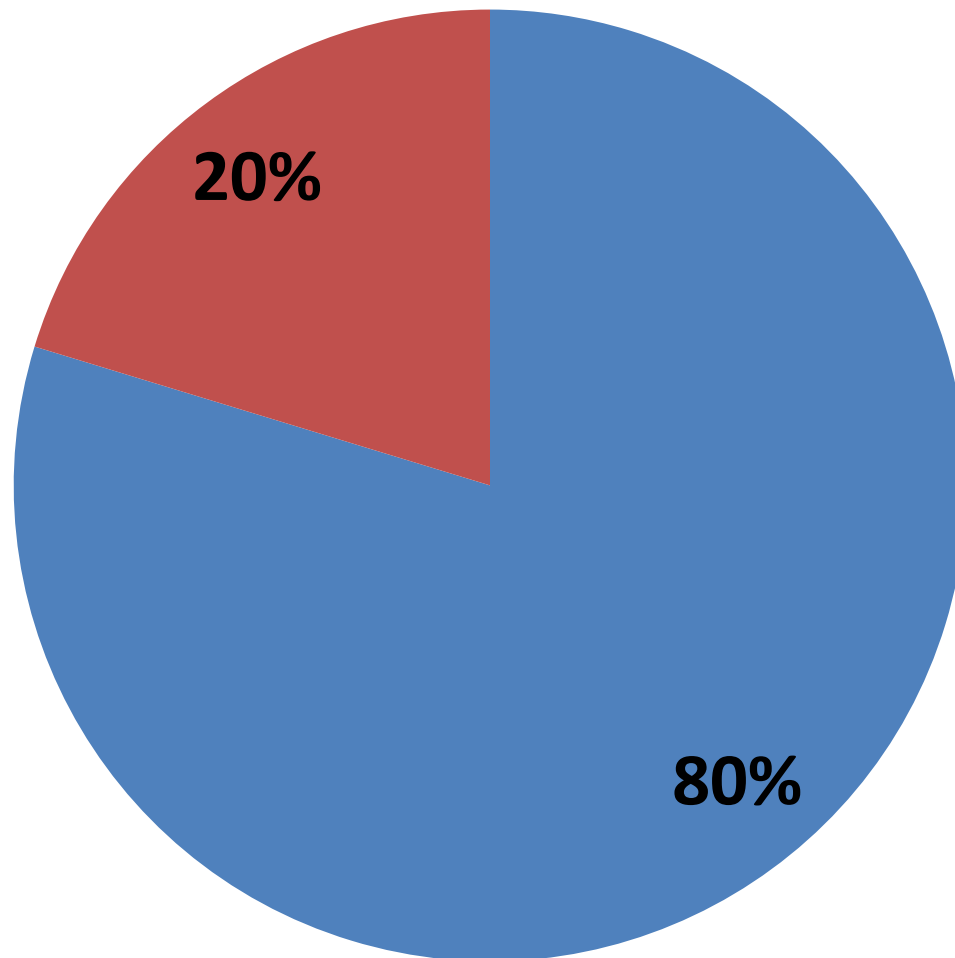
4. 回答者について 診断から現在までの経過年数

- 癌ではない
- 1年未満
- 1年～2年未満
- 2年～3年未満
- 3年～5年未満
- 5年～7年未満
- 7年～10年未満
- 10年～



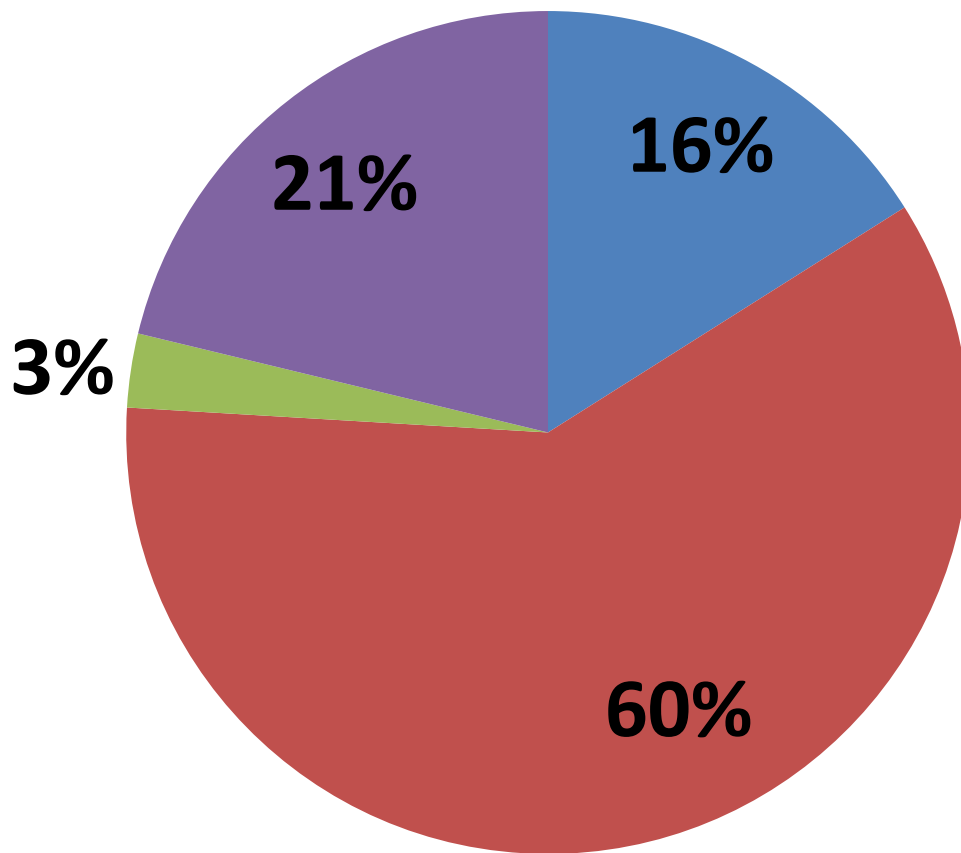
5. 回答者について 現在の受診先の所在地は？

■ ア.神奈川県 ■ イ.神奈川県外



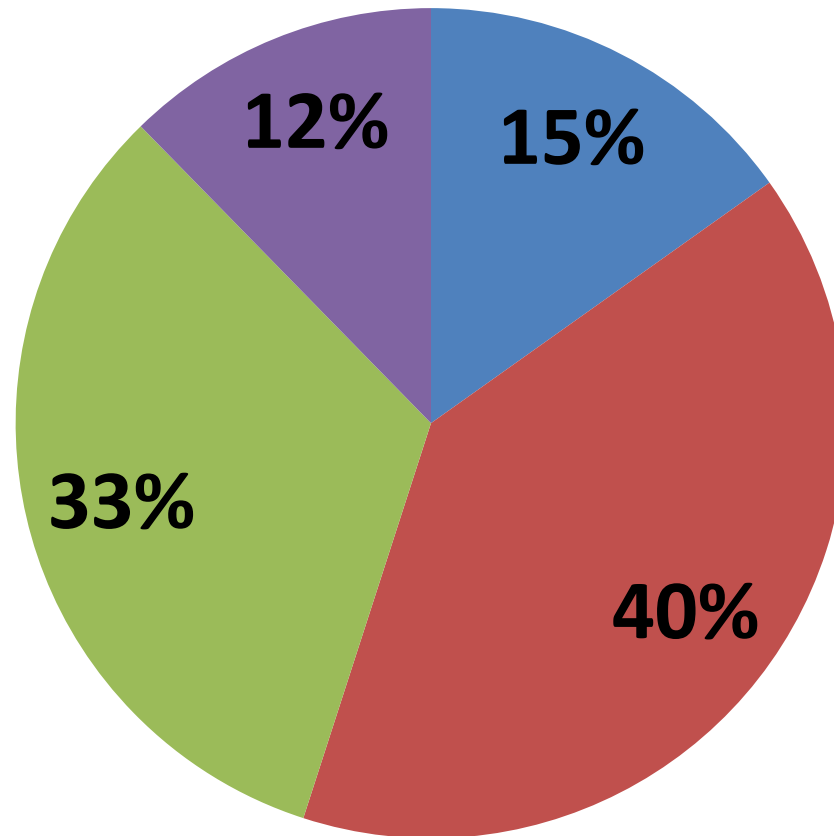
問1. 「乳がんの薬物療法の役割は増加しており、一方で手術療法の役割が年々減少している」という情報についてあなたは？

- ア. 当然そう思う
- イ. 必ずしもそうは思わない
- ウ. まったく間違いだと思う
- エ. よく分からない



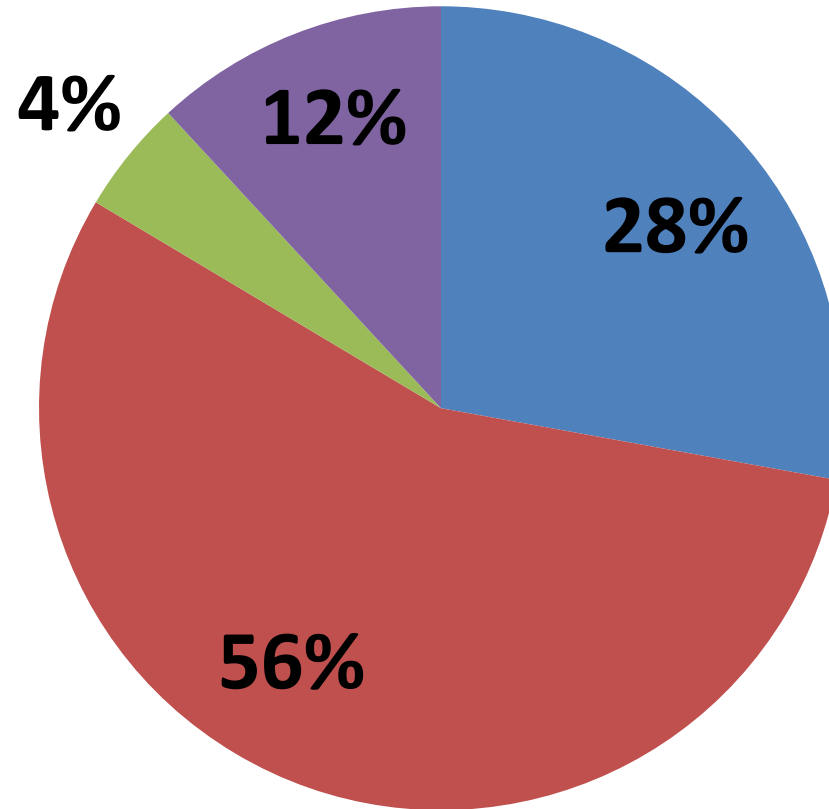
問2. 「乳がんの手術は、大きく切除するほど整容性は低下するが、乳がんによる生存率は高くなる」という情報についてあなたは？

- ア. 知っている
- イ. 知らなかった
- ウ. まったく間違いだと思う
- エ. よく分からない



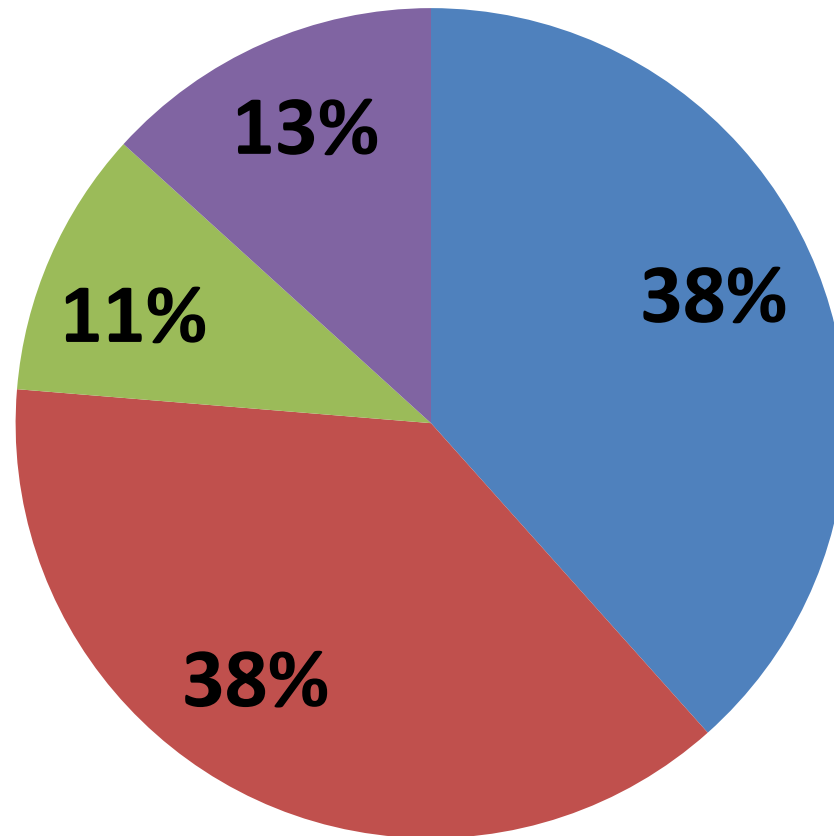
問3. 「乳がんの手術はここ数十年のあいだではだんだんと縮小化したが、ここ数年に限ってみると乳房再建の普及に伴い、乳房温存率が減少し、乳房全摘術が増加している」という情報についてあなたは？

- ア. 当然そう思う
- イ. 必ずしもそうは思わない
- ウ. まったく間違いだと思う
- エ. よく分からない



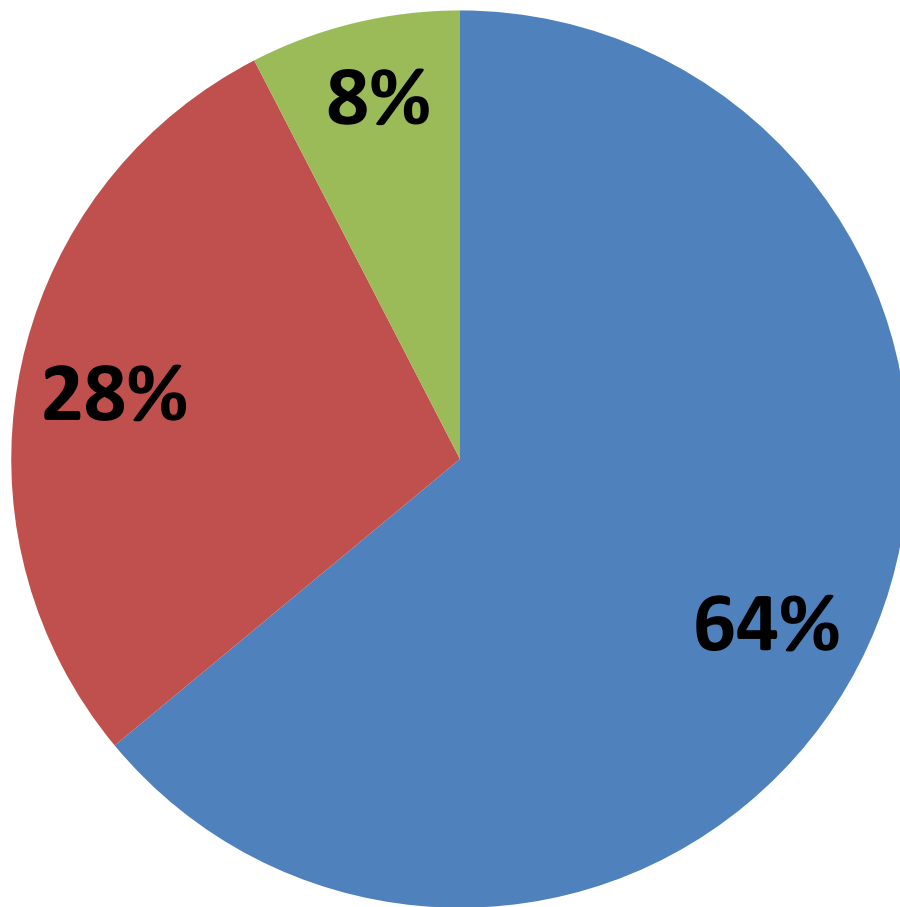
問4.「抗がん剤治療とホルモン治療とでは抗がん剤の治療の方が効果は強いが副作用も強い」という考えについてあなたは？

- ア. 当然そう思う
- イ. 必ずしもそうは思わない
- ウ. まったく間違いだと思う
- エ. よく分からない



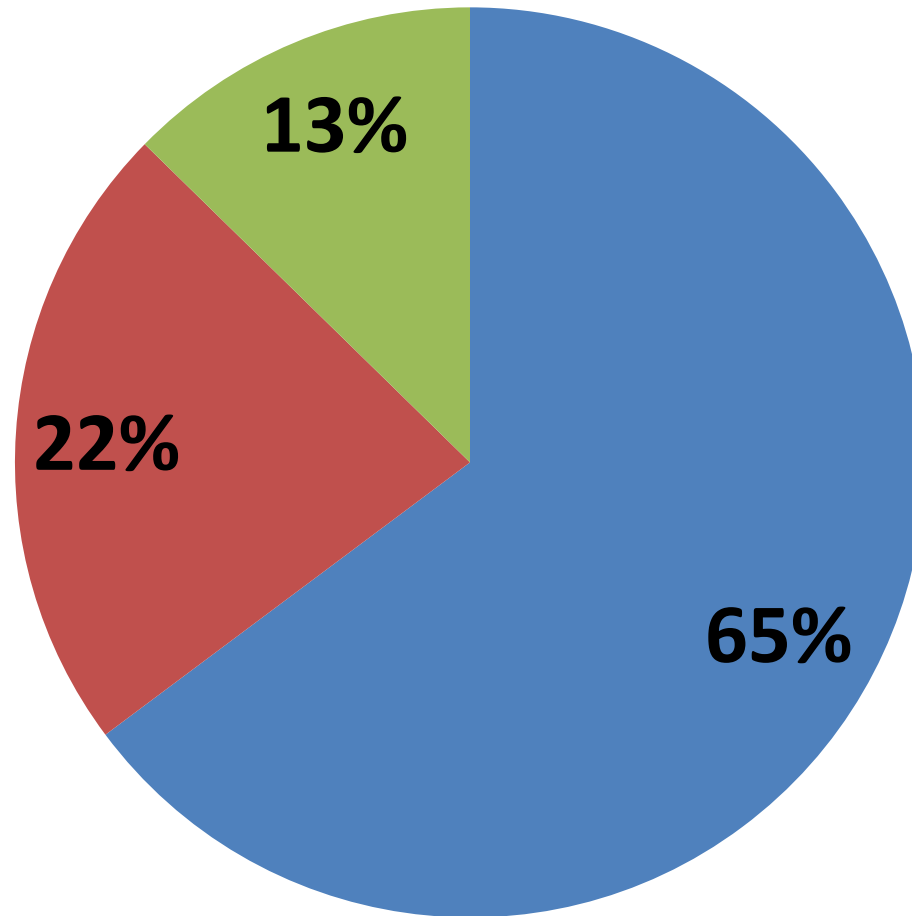
問5(1). 乳がんにはホルモンに影響されるタイプ(ホルモン感受性)の癌と無関係な癌の2種類があることについてあなたは？

■ ア.よく知っている ■ イ.なんとなく知っている ■ ウ.知らない



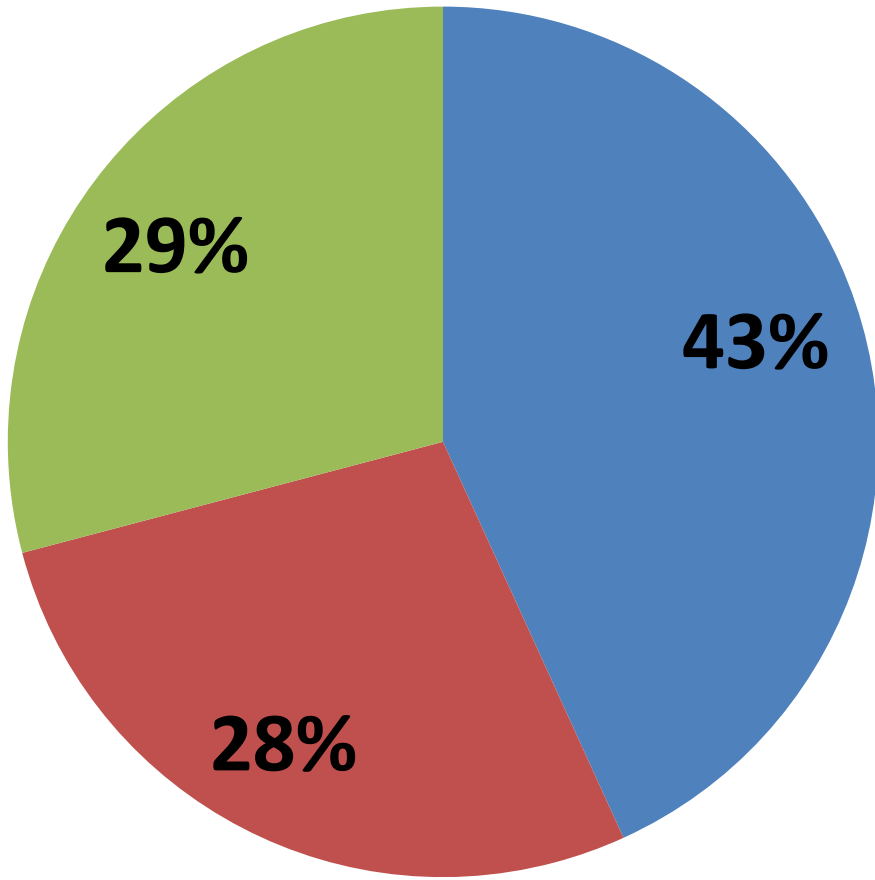
問5(2). 乳がんにはHER2という増殖因子を持つ癌と持たない癌の2種類あることについてあなたは？

■ ア.よく知っている ■ イ.なんとなく知っている ■ ウ.知らない



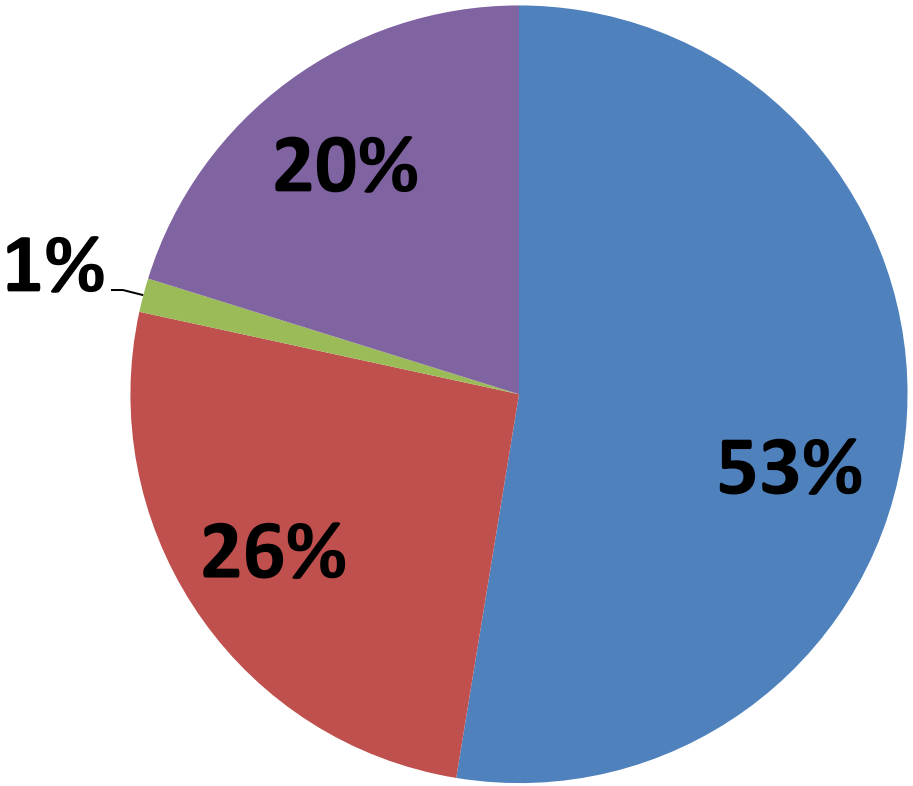
問5(3). 乳がんの再発の危険性は、ホルモンの感受性の有無やHER2増殖因子の組み合わせによって分類されるタイプ(サブタイプ)によく関連していることについてあなたは？

- ア.よく知っている
- イ.なんとなく知っている
- ウ.知らない



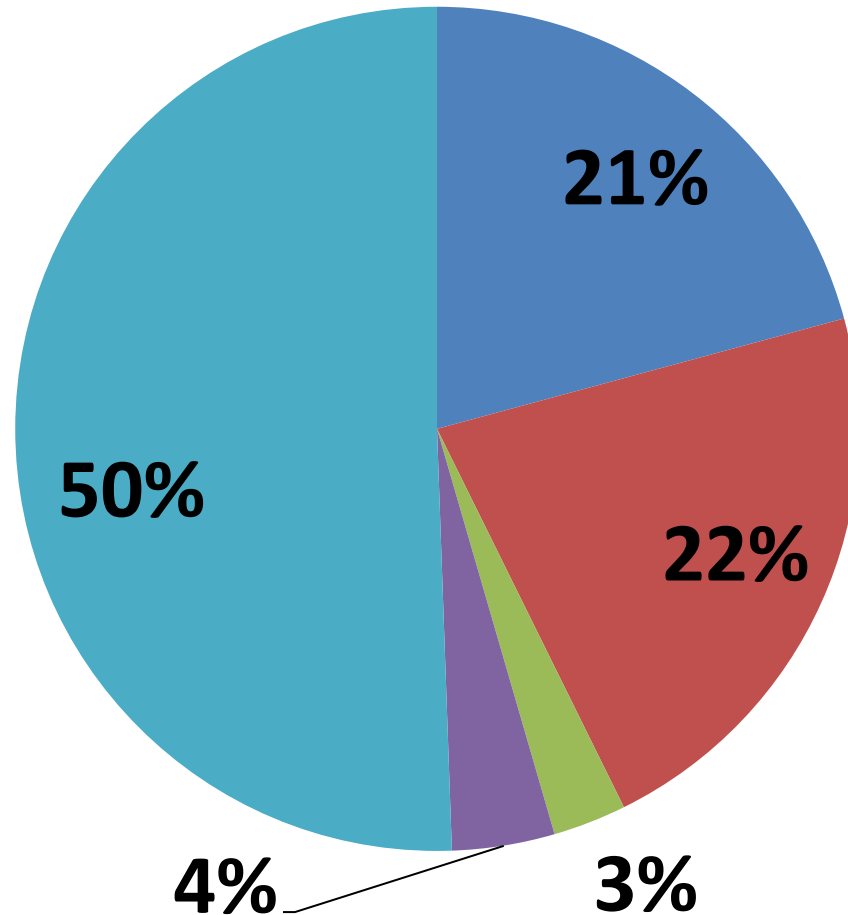
問7 「ホルモン受容体陽性乳がんに対し、抗エストロゲン剤やアロマターゼ阻害薬等のホルモン療法剤の登場で、生存率が大きく改善した」ということについてあなたは？

- ア. 知っている
- イ. 知らなかった
- ウ. まったく間違いだと思う
- エ. よく分からない



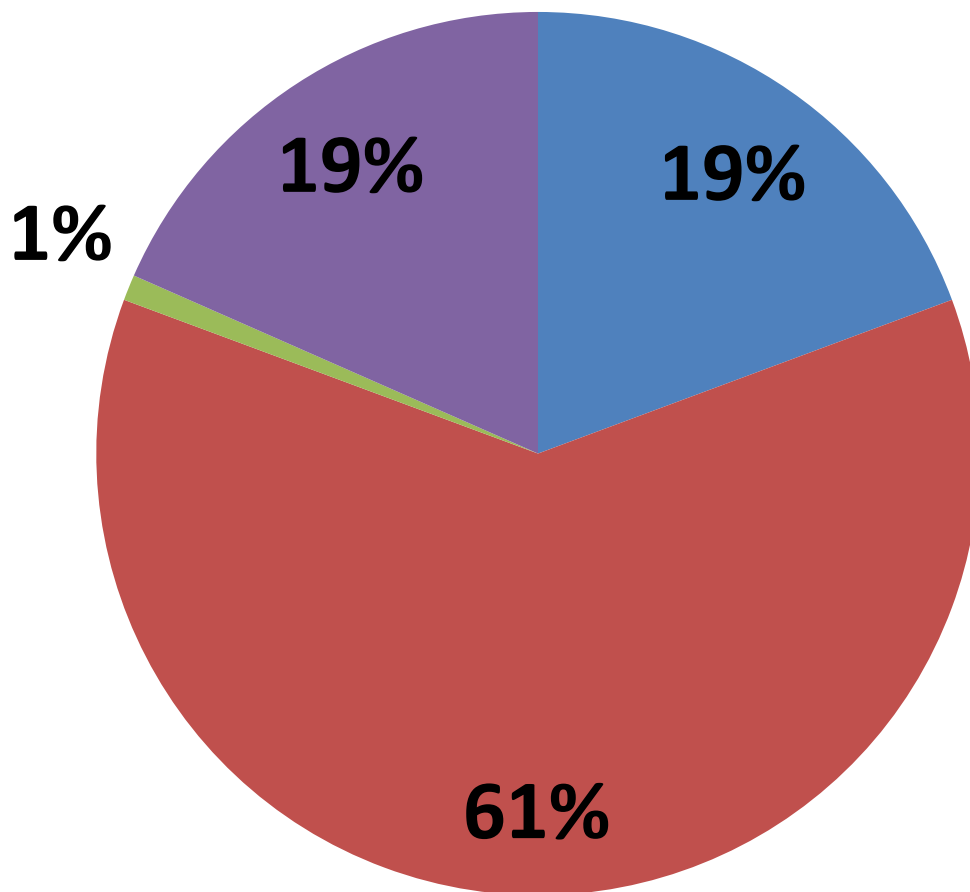
問8 抗HER2薬が進行再発乳癌に対して日本で使えるようになって12年経ちましたが、術後補助療法として使えるようになってからの期間はどれ位？

■ ア. 約3年 ■ イ. 約5年 ■ ウ. 約8年 ■ エ. 約10年 ■ オ. よくわからない



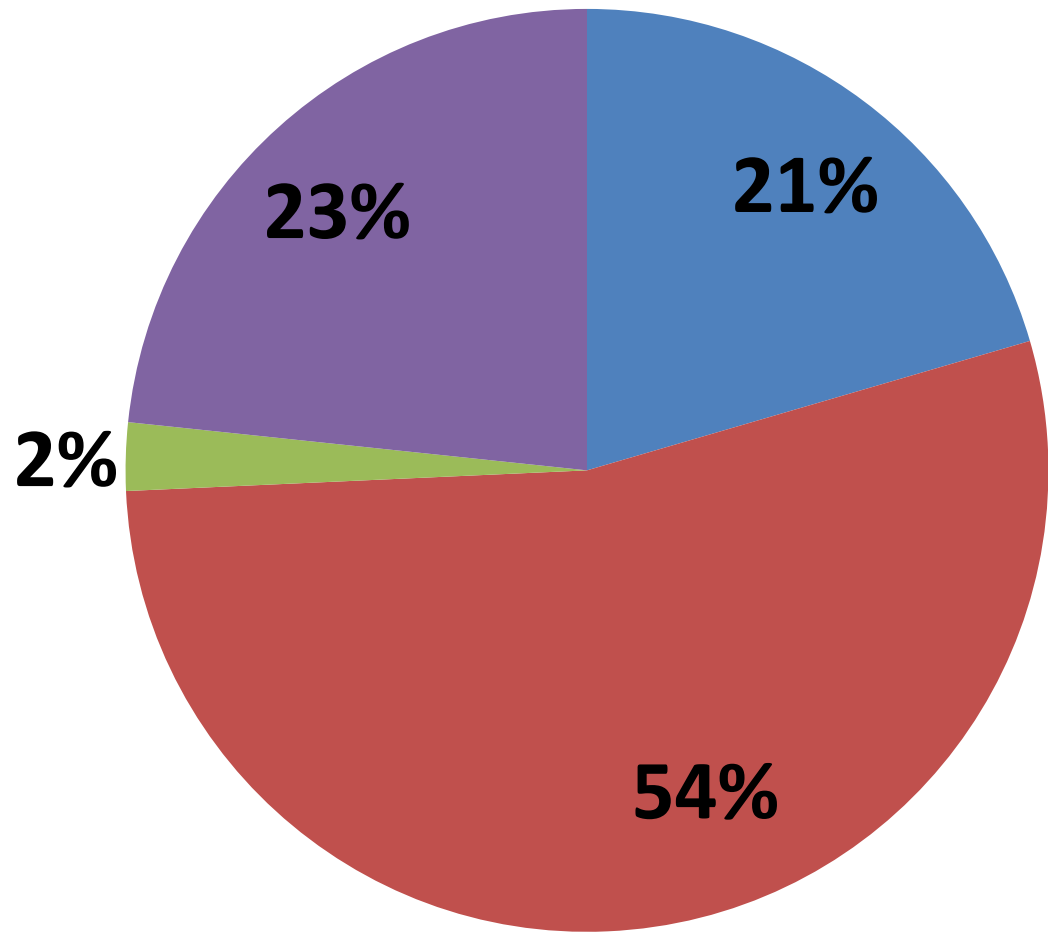
問9(1) 経口抗がん剤が主流の時代があったことについて あなたは？

- ア. 知っている
- イ. 知らなかった
- ウ. まったく間違いだと思う
- エ. よく分からない



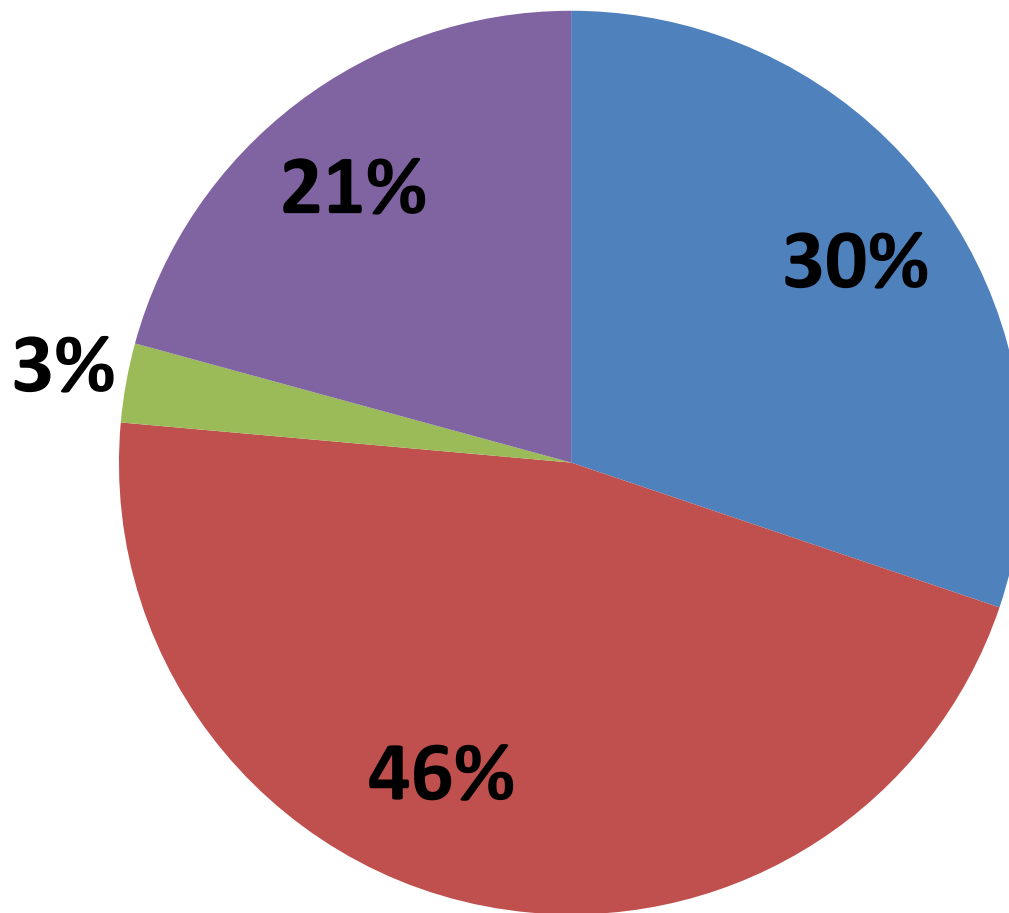
問9(2) しこりが大きいと抗がん剤をするべき？

- ア. 当然そう思う
- イ. 必ずしもそうは思わない
- ウ. まったく間違いだと思う
- エ. よく分からない



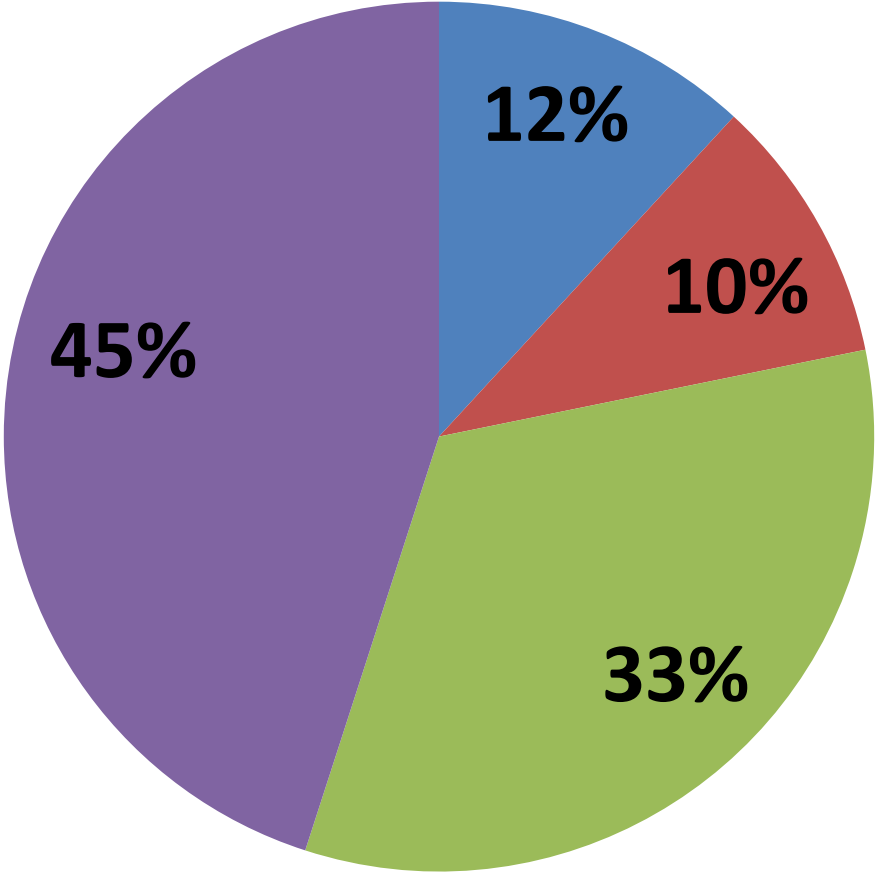
問9(3) リンパ節転移が一つでもあれば抗がん剤をするべき？

- ア. 当然そう思う
- イ. 必ずしもそうは思わない
- ウ. まったく間違いだと思ふ
- エ. よく分からない



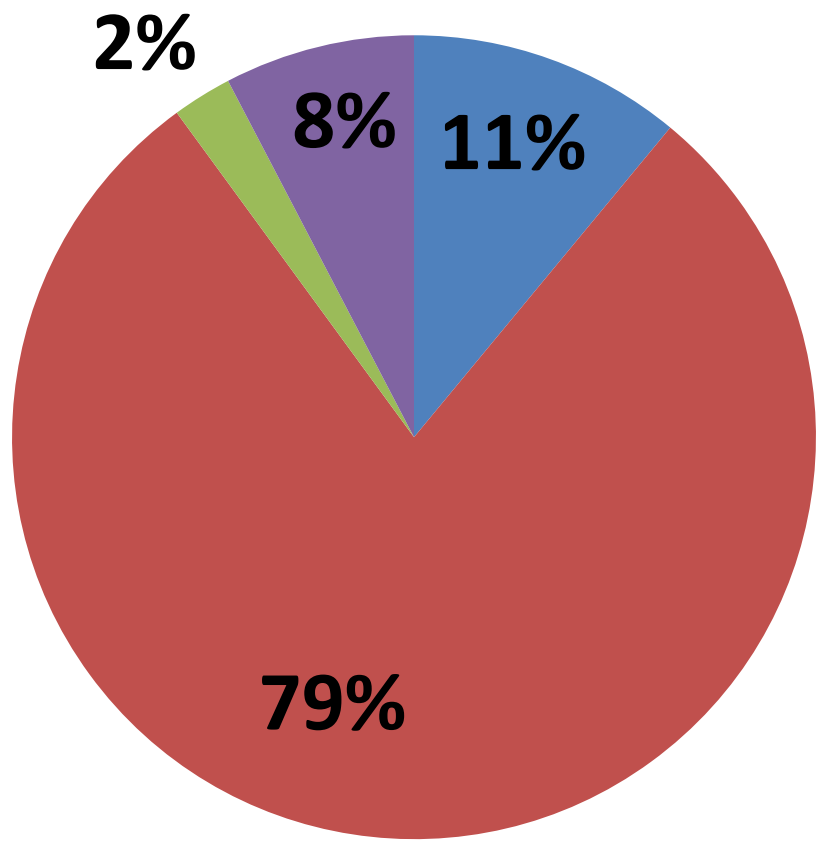
問9(4) 抗がん剤を術前と術後のどちらにした方が、生存率が高い？

- ア. 術前の方が高い
- イ. 術後の方が高い
- ウ. 同じだと思う
- エ. よくわからない



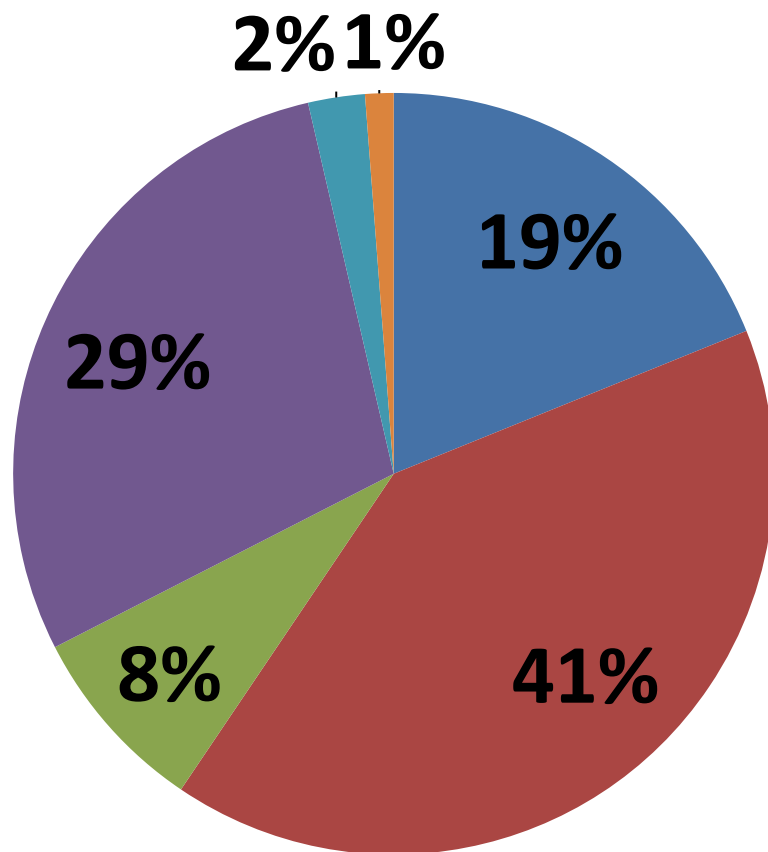
問10 「乳がんで骨に転移がある場合、以前薬が無かった時代は、ほとんど何も
為す術もなく、骨折しないように患者さんはただ、長年寝たきりになって
いた。」という情報についてあなたは？

- ア. 知っている
- イ. 知らなかった
- ウ. まったく間違いだと思う
- エ. よく分からない



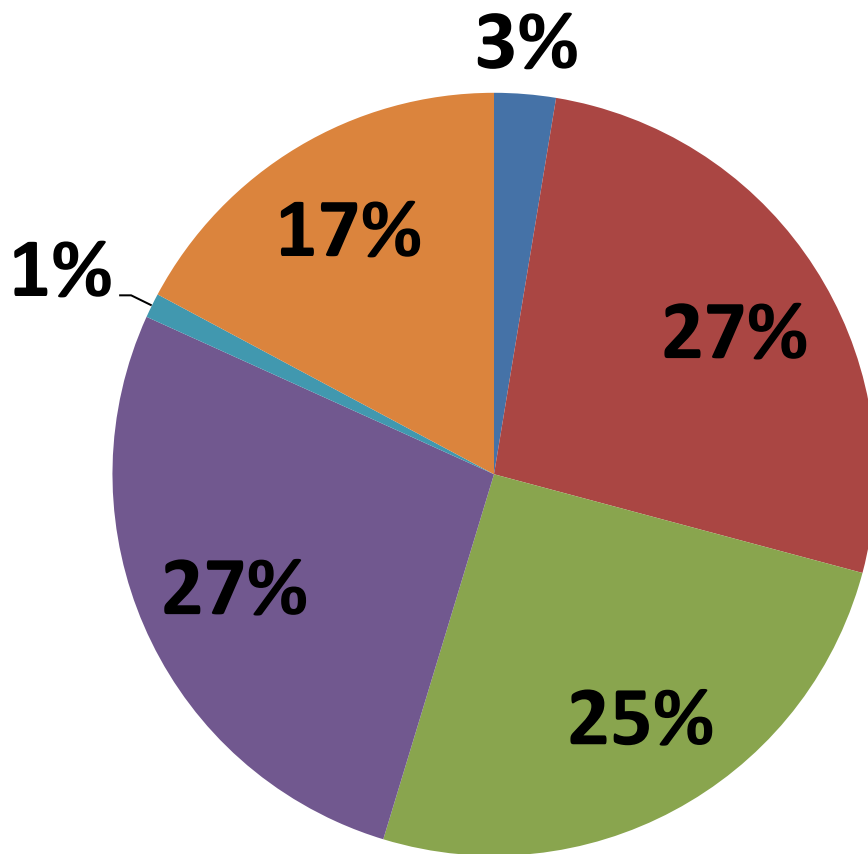
問11 術後補助療法の選択は、再発リスクを低下させるメリットと、副作用や費用の問題などのデメリットとの天秤によって決定するが、この選択は誰の意見を参考にすべき？

- ア. 家族
- イ. 主治医
- ウ. 公平な第三者(セカンドオピニオン等)
- エ. 関わる人全員
- オ. 誰にも相談しないで自分で
- カ. その他



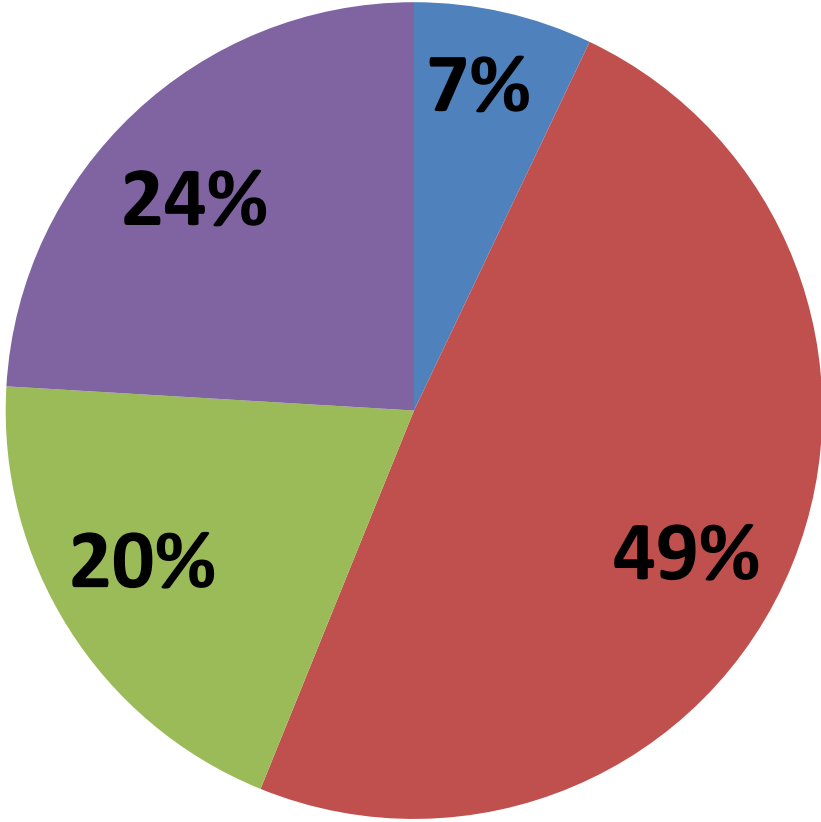
問12 センチネルリンパ節生検ではなく、脇の下のリンパ節を取る(腋窩リンパ節郭清術)乳がんの手術をした場合、手術後にリンパ浮腫になる頻度は？

- ア. 必ずなると思う(100%)
- イ. ほとんどがなると思う(75~80%)
- ウ. 半分くらいはなると思う(50%)
- エ. あまりならないと思う(10~30%)
- オ. ほとんどならないと思う(1~2%)
- カ, わからない



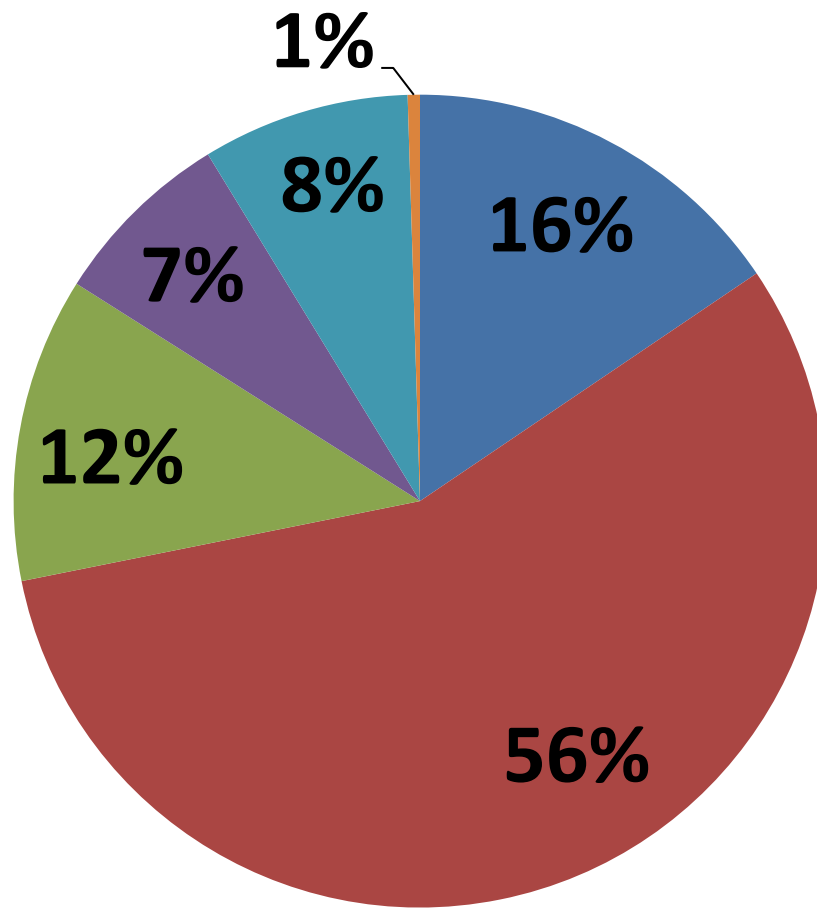
問13 「乳がん治療薬におけるジェネリック医薬品(後発医薬品)は、先発品と比べその効果や副作用が劣る可能性があるため使用しない方が良い」という情報についてあなたは？

- ア. 当然そう思う
- イ. 必ずしもそうは思わない
- ウ. まったく間違いだと思う
- エ. よく分からない



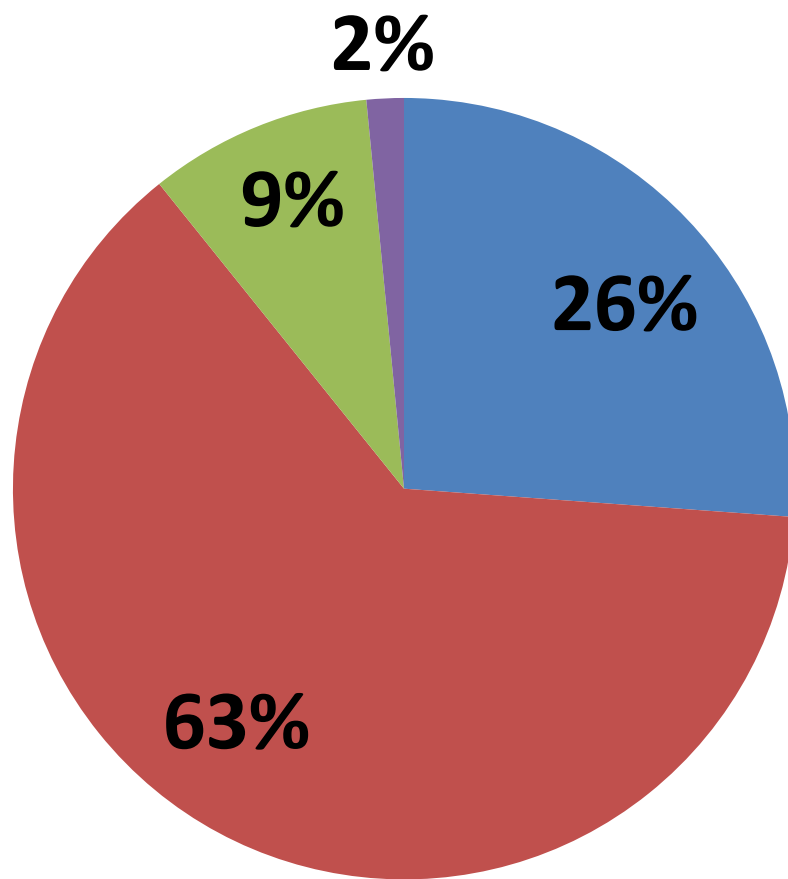
問14(1) 将来、期待の新薬・新しい治療法は、例え治験の段階でも受けてみたい？

- ア. ぜひ受けてたい
- イ. じっくり様子を見てから受けてたい
- ウ. あまり受けてたいと思わない
- エ. 全く受けてたいと思わない
- オ. よくわからない
- カ. その他



問14(2) 上記で受けたくない、と答えた方、理由は？

- ア. どれだけ効くのか実際はよくわからないから
- イ. 副作用がどれだけあるか実際はよくわからないから
- ウ. 標準治療が安心だから
- 江. その他



問15(1) サプリメント等を飲んでいますか？

■ ア. 飲んでいる ■ イ. 飲んでいない

